



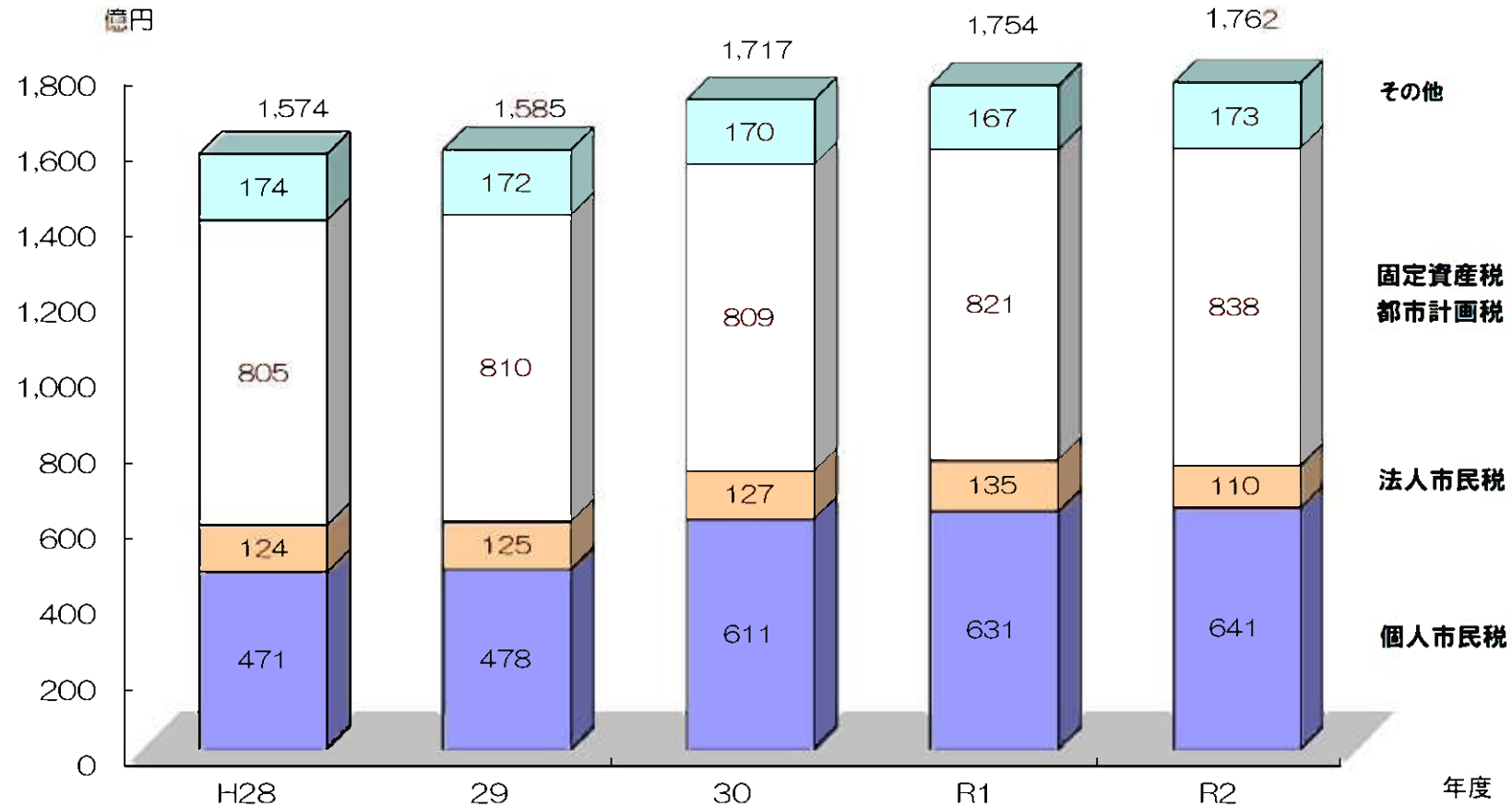
SDGs未来都市
北九州市

令和2年度当初予算案のポイント

令和2年2月
北九州市

本市の動向（市税予算額の推移）

《市税予算の推移 当初予算ベース》



平成27年度以降、
市税収入予算額は増加傾向

令和2年度の市税予算額は
過去最大

令和2年度予算編成の基本的な考え方

令和2年度は、東アジア文化都市2020北九州や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される年。

文化芸術・スポーツの力でまちの活性化に取り組むとともに、若者の定着に向けた地方創生の取組などを通じて「住みたいまち」の実現に邁進する。

～SDGs 未来都市への挑戦～

住みたいまち北九州実現予算

文化・スポーツの振興などによるまちのにぎわいの創出

人や投資の流れを加速させる経済成長戦略の実行

誰もが安心して住み続けられるまちづくり

住みたいまちの実現「元気発進！北九州」プランの総仕上げ

1 予算規模 ～過去3番目の規模～

- 5,703億円（前年度比▲41億円、▲0.7%）

2 歳入・歳出の状況

【歳入】（主なもの）

- 市税等の一般財源総額

2,989億円（前年度比+26億円、+0.9%）

うち、市税は1,762億円で**過去最大**

【歳出】（主なもの）

- 扶助費は、**幼児教育・保育の無償化の通年実施**等により増
- 令和2年度当初予算は令和元年度2月補正予算と一体的に編成
→2月補正予算と合わせた予算規模は、
5,838億円（+94億円、+1.6%）

I 文化・スポーツの振興などによる まちのにぎわいの創出

【拡充】「東アジア文化都市2020北九州」開催！

日中韓の3か国から選ばれた都市が1年を通じて
様々な**文化芸術の多彩なイベント**や**文化交流**を実施

SCHEDULE

2019

プレ
イベント

プレ期間

オリパラ・ウェルカムプログラム
オリンピック・パラリンピック開催期間に合わせ、
訪問客を日本文化でお迎えします。

2020

3月28日(土)

開幕
式典

夏の
コア期間

通年事業

日中韓交流事業、連携事業、市民企画事業など
年間を通じて様々なプログラム・イベントを展開します。
夏と秋のコア期間には集中的に開催！

秋の
コア期間

東アジアアートプログラム
秋の芸術シーズンに、市民を中心に
東アジアの文化芸術で盛り上がります。

11月28日(土)

閉幕
式典

拡充 北九州市東田ミュージアムパーク関連予算

いのちのたび博物館を中核に
周辺施設群が連携
ミュージアム・ツアーなどを開催



拡充 優れた文化・芸術との“出会い”創造事業

「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」
の招聘

「ニッセイ名作シリーズ」を招聘し、
小学生を対象とした芸術鑑賞教室を開催



スポーツを通じたシビックプライドの醸成

拡充

東京オリンピック・パラリンピック
事前キャンプ受入れ・
聖火リレーの実施

新規

ウェールズレガシー
プログラムの実施

子ども向けラグビー教室や
市民交流イベントを開催



新規

スポーツ施設の整備・
維持改修

イベント開催に必要な芝生保護材を
ミクスタに導入！
総合体育館に大型ビジョン導入！



新規

宿泊税を活用した観光振興

戦略① 都市イメージ戦略

北九州市＝観光都市とするための
ブランディング

○メディアを活用した北九州観光PR展開

戦略② 観光資源の発掘・磨き上げ

北九州市ならではの地域資源の観光資源化

○小倉城周辺歴史文化観光磨き上げ
○皿倉山プレミアム夜景創出



戦略③ セールスプロモーション

本市の魅力を伝えるためのセールス
プロモーション

○修学旅行などの団体客誘致促進
○日本新三大夜景都市と産業観光
コラボレーション
○北九州空港新規路線就航促進



戦略④ 受け入れ態勢の整備

観光客がストレスフリーで観光を楽しめる
環境の整備

○観光案内機能強化
○商店街満足度向上
○北九州空港アクセス推進
○宿泊施設等改修支援



戦略⑤ MICE戦略（都市型集客）

MICE戦略を強化し、都市型集客を促進

○MICE開催助成



戦略⑥ インバウンド戦略（海外からの誘客）

アジアを中心とした誘客を促進

○インバウンド誘致強化
○海外ウェブサイトを活用した
戦略的インバウンド誘致



観光やMICE等によるにぎわい創出

拡充

小倉駅周辺の景観整備

「平和通り」のライトアップや
JR小倉駅JAM広場の改修



拡充

新科学館の整備

人材育成や集客拠点
として再整備



新規

北九州・釜石 「鉄の絆」 交流PR事業

Ⅱ 人や投資の流れを加速させる 経済成長戦略の実行

北九州空港の利用促進

北九州空港将来ビジョン実現に向けた
3,000m級滑走路の早期実現のため、
航空貨物定期便の維持・誘致や空港アクセスを強化

拡充 航空貨物の拠点化

貨物便誘致のための**着陸料助成**に加え
テクニカルランディングに係る費用を助成

拡充 空港アクセスの利便性向上

エアポートバスや乗合タクシーの運行助成のほか、**エアポートバス小倉線の増便**を実施



新規

2020ホラシスアジアミーティングの開催

海外の企業経営者や投資家が参加する
国際会議を開催



ホラシスアジアミーティング
開催都市選定に係る基本合意書締結

新規

環境ビジネス創出支援事業

市内企業の技術や製品の販路拡大支援により、
「ESG資金」の呼び込み、環境ビジネス活性化



©ていたん&ブラックていたん, 北九州市

風力発電関連産業の総合拠点化

響灘地区の充実した港湾インフラと
広大な産業用地を活用し、
風力発電関連産業の集積や
市場開拓、港湾整備を促進

拡充 基地港湾の整備

重量物を扱う作業ヤード等の
整備を実施

拡充 響灘東地区 SEP船等基地化事業

洋上ウインドファームの建設時に使用する
特殊作業船の基地化に向けた係留施設を整備

(※SEP=Self-Elevating-Platform)



SEP型多目的起重機船 (五洋建設)

継続

ロボットテクノロジーを活用した 地方大学・地域産業の創生

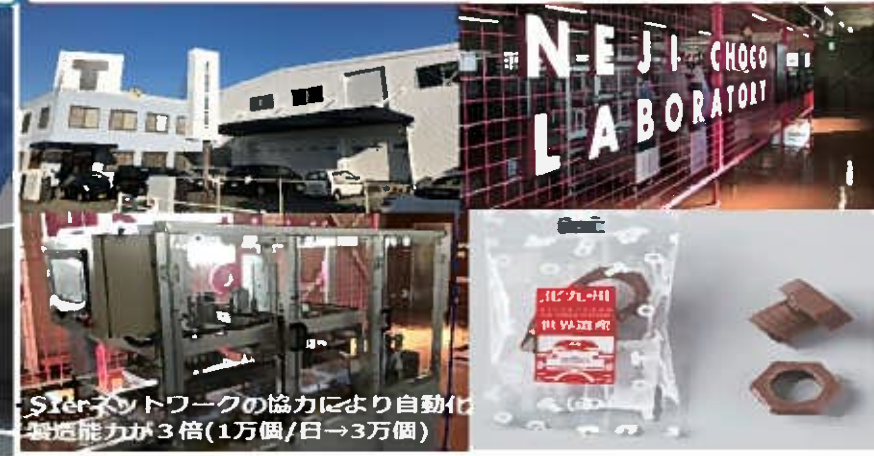
研究開発

「安川テクノロジーセンタ（仮称）」における未来のロボット開発（安川電機・九州工業大学）



導入支援

地域ものづくり企業の生産性革命に向けた導入支援(モデル事業「ネジチョコラボラトリー」)



新規

5G導入可能性調査

5Gを活用した地域課題の解決等に向けた
実証・実装の可能性調査

医療機関が導入
遠隔診療



自治体による
テレワーク環境の整備



新規

スタートアップエコシステム 推進事業（創業支援）

国家戦略特区を活用した**創業支援窓口の開設**などによるスタートアップの掘り起こしや誘致等の推進



新規

オフィスリノベーション補助金

オフィス環境整備のための改修に対する補助制度を新設し、IT企業等の誘致を促進



新規

円滑な事業承継のためのM&A モデル事業

金融機関との連携し、事業承継に悩む
中小企業を支援



新規 地元就職促進に向けた 市内大学助成

地元就職促進等に取り組む市内大学に対し、
1校あたり上限1,000万円を助成する
制度を創設



新規 就職氷河期世代の就業支援

市内3か所に相談窓口を設置し、**統括カウンセラーを配置、**
短期の資格取得支援等を実施

新規 外国人材就業サポートセンター 運営事業

専門相談窓口を設置し、市内企業と留学生のマッチン
グ、**あらゆる在留資格に応じた就業支援**を実施



Ⅲ 誰もが安心して 住み続けられるまちづくり

拡充 高齢者等の生活交通の確保

- **おでかけ交通**への運行支援助成率の引き上げ
- 実施地区の拡大（7地区→18地区）
- バス事業者の参入促進
- 柔軟で低価格な運行形態に刷新



ユニバーサルデザインタクシーの導入助成制度を新設



拡充 空き家・空き地等の活用推進

複数の空き家を一体的に再整備する住宅建替えやリノベーション、老朽空き家の**除却費用の助成**

新規 EV・FCVなど次世代自動車を活用した災害対応

次世代自動車を活用した災害時の電力供給の仕組みを構築



拡充 旦過地区のまちづくりに伴う河川整備

神嶽川の治水対策・**旦過市場**の再整備を推進

■ 整備後のイメージパース



道路・街路、面的整備などを着実に進捗しつつ、

学校をはじめとした

市民利用施設の老朽化対策を推進

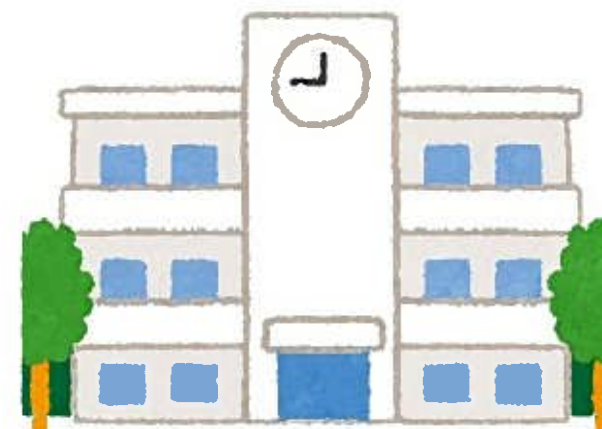
新規 長野津田土地区画整理事業

小倉東インターチェンジ近郊における
物流拠点用地の開発を支援



継続 学校施設の老朽化対策の推進

大規模改修・外壁改修などにより、
安全で安心な教育環境を整備



IV 住みたいまちの実現～「元気発進！ 北九州」プランの総仕上げ

新規 SDGs 未来人財創造事業

拡充 北九州市プラスチックスマート推進事業

指定ごみ袋のバイオマスプラスチック化など

新規 森林環境保全事業



林道の整備や放置竹林の解消、国内産木材利用の推進

第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞
(2017年12月)

280団体以上が応募
12団体受賞
(自治体は本市と下川町のみ)



(写真提供：内閣広報室)

OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定 (2018年4月)

アジア地域で初めて選定



共同記者会見

国より「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定 (2018年6月)

29都市選定
(うちモデル事業10都市)



市長会見

国の「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の会長に市長が就任 (2018年8月)



設立総会

新規 民間保育所の副食材料費補助

民間保育所の3歳以上児の給食について、**材料費の一部を補助**



新規 幼児教育無償化に伴う 私立幼稚園事務職員雇用補助

新規 産後ケア体制の強化

出産直後の母子のサポート体制の構築や
産婦健康診査を支援



新規 児童相談所の機能強化

児童相談所業務の一部委託化、
人員体制の強化を推進

拡充 不登校対策の推進

スクールソーシャルワーカーなどの**専門人材の増員**、
NPO法人等への委託による**伴走型支援**の拡充など

拡充 学校のICT環境整備

全小学校にタブレット端末を整備し、
情報活用能力を育成

市立小・中・特別支援・高等学校に
高速大容量回線やネットワーク機器等を整備
(令和元年度2月補正予算として計上)



新規 医療的ケア児の支援

特別支援学校などに派遣型**看護師を配置し**、
日常的な医療ケアを推進



拡充 健康（幸）寿命プラス2歳の推進

歯周病検診の自己負担額を500円へ引き下げ
などにより健康寿命を延伸



新規 医療的ケア児 在宅レスパイト事業

在宅の医療的ケア児が利用する
訪問看護費用の一部を助成

訪問看護師



レスパイト（休息）
支援



イラスト出典：鎌倉女子大学HP

新規 シニア就業促進事業

人生100年時代を見据え、
高齢者の雇用を促進





このような政策を着実に推進し、
「元気発進！北九州」プランの
総仕上げに取り組むことで、
本市の魅力をさらに高め、
「住みたいまち」の実現を
目指します。

